

No.175

令和2年7月10日

【発行】

豊橋市立青陵中学校 校長室

t-asai-hideo@toyohashi.ed.jp

Rising Sun



“まちがい”っていわけじゃないけれど…

ICT環境が進化・充実し、学校から発信する情報もそのためのツールも多様化してきました。多様化する中であっても、必ず用いられるのが文字情報です。イラストや写真を使うことはあっても、それだけということはありません。情報発信には、文字情報は必須です。拙紙 *Rising Sun* も例外ではありません。

多くの先生がたも学級での様子や担任としての思いを生徒や保護者に伝えるために、学級通信を発行してくれています。

その通信を読ませていただいて気になることがあります。「表記」の仕方です。漢字にひらがな、カタカナ、ローマ字、英語…、さまざまな文字で表現できる日本語ゆえに悩ましさもあります。

何をよりどころにするかで表記の仕方も変わってくるとは思いますが、私が尊敬する国語の大家である先輩校長から、「公的機関である学校から発信する文書は、『表記の手引き』（教育出版）に準拠するとよい」ということを教わりました。各学年に1冊ずつお配りし、本校でもそうしてもらっています。

使われている表記は、まちがいっていわけではありませんが、「表記の手引き」によると、意外にもひらがなで表されていたり、その逆もあつたりします。「表記の手引き」では、その理由まで解説されているものもあれば、解説されていないものもありますが、詳しく調べてみると、「常用漢字ではない」「文部科学省内で示されている『公用文の書式と文例』による」など、きちんとした理由があります。

今回は、まちがいっていわけではないですが、気をつけて表記すべき言葉を集めてみましたので、用例とともに紹介します。

【ひらがなで表記すべき言葉】

あがる・あげる 成果があがる 申しあげる

あたりまえ あたりまえのこと あたりまえだ

あつというま あつというまに桜が散った

いう …という場合 いうまでもない

いちばん [副詞] いちばん困る いちばんいい

いろいろ いろいろな花 いろいろあります

うえ 意味のうえでは 作成するうえの そのうえ

うち うち明ける うちとける

うれしい なによりもうれしい うれしい悲鳴

おかげ おかげさま 君のおかげだ

おさえる 要点をおさえる

おもしろい おもしろい話 それはおもしろい

か 三か所 三か月 五か年

かかる・かける 声がかかる 時間がかかる

かた あなたがた 先生がた 皆様がた

かまう それでもかまいません かまってくれない

きく 目がきく 気がきく 暖房がきく

ぎみ 風邪ぎみ 疲れぎみ 遅れぎみ

きる 思いきる 言いきる 疲れきる 息がきれる

け・げ 眠け 寒け 悲しげ なにげなく

けが けがをする けがの功名 大けが

こむ 心をこめる 気持ちをこめる 考えこむ

さす 日がさす 日ざし 指さす 目ざす

さまざま さまざまな人 さまざまな考え

すすんで すすんで勉強する すすんで申し出る

※ 交渉を進める 仕事を進める 等動詞は漢字で表記

すばやい すばやい動き すばやく逃げる

精いっぱい 精いっぱい仕事をする

たつ・たてる 目だつ 月日がたつ うわさがたつ

つかう 気をつかう 気づかう 息づかい

つく・つける 気をつける 身につける 気づく

つくる 村をつくる 時をつくる

※ 「作」「造」「創」か判断しにくいときは、全てかなで書く

でき できあがり できごと できばえ 用意がで

きる できるだけ 勉強ができる

書き出してみたらいっぱいありました。まだまだたくさんあります。次号へつづく！